

●往復部

○チタンコンロッド

高回転化のため、軽量なナットレスチタンコンロッドを採用。コンロッド／コンロッドキャップのチタン、コンロッドボルトのクロームモリブデンバナジウム (Cr-Mo-V) 鋼ともにHondaが開発、実用化した材質を採用し、クロームモリブデン製コンロッドに比べ約50%の軽量化を実現しています。

また、摺動部の耐久信頼性確保にはRC213V-Sのチタンコンロッドと同じ仕様を採用。小端部のブッシュには高回転時に必要とされる耐焼き付き性能を備えた削り出しベリリウム銅、大端スラスト部にはDLCコーティングをそれぞれ施すことで高回転化に大きく寄与しています。

■チタンコンロッド



■チタンコンロッド部品構成図 (CGイメージ)



○高強度アルミ鍛造ピストン

高回転化に対する耐久信頼性確保のため必要となるピストン軽量化手法としてRC213V-Sと同じ材質の、強度と高耐熱性に優れたA2618材鍛造ピストンを採用。従来のCBR1000RRに比べピストン1個あたり約5%の軽量化を図っています。また、ピストンスカート部にオーベルコート (テフロン・モリブデン系) によるコーティング、ピストンピンのクリップ溝にニッケル-リンめっきを施すことで高回転に対応した耐摩耗性を確保、これらにより高回転化の実現に大きく寄与しています。

■高強度アルミ鍛造ピストン

